



インスピレーションになる

WEEKLY BULLETIN

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30 例会場：ホテルアソシア静岡 TEL.054-254-4141
 事務所：〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL.054-254-5611 FAX.054-221-0515
 ◆http://www.wbs.ne.jp/bt/nrc/ ◆E-mail: shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp

2018-19年度 RI会長 パリー・ラシン / BE THE INSPIRATION

2018年8月20日 [月] 第1327回例会 天候：☁



会長 山崎 俊昌

会長 ●山崎 俊昌

副会長 ●森崎 和敏

幹事 ●戸崎 博隆

副幹事 ●杉山 直

地区役員紹介

2018-19 RI第2620地区 ガバナー 星野 喜忠様

2018-19 RI第2620地区 静岡第3グループ ガバナー補佐
浅原 諒蔵様

2018-19 RI第2620地区 地区幹事 小侯 理美様

出席報告

月日	会員数	出席数	欠席数	マークアップ	改正出席率
7/24	32(30)	21名	9名	1名	73.33%
8/7	32(31)	26名	5名	-	-
8/20	32(30)	22名	8名	-	-

星野 喜忠ガバナー 挨拶

ガバナー講話

RI第2620地区 ガバナー 星野 喜忠様



日本のロータリーは1920年、東京ロータリークラブと発足して誕生し再来年で100年を迎えます。100年を祝う記念として「鐘」を作成いたしました。この「鐘」は34個作成し、全国34地区に配布いたしました。日本のロータリー100年の歴史の重みを感じながら、今般心して点鐘いたしました。

自己紹介いたしますと、私は1945年山梨県大月生まれでございます。祖父は静岡県島田の出身、父は藤枝の出身で静岡県とは縁が深いと感じております。大月の実家は江戸時代からある「星野家住宅」として国指定の重要文化財となっております。実家は当時から色んな商売をしていました。「穀物商」「薬問屋」「林業」「酒屋」等…。そして今は「納豆屋」を営んでおります。祖父が北大で納豆菌を研究していた関係で、それを商売として山梨県で初めて開業しました。私は大学卒業後サラリーマンをし、55歳で家業に入り実家を継いでいる次第です。その後2001年の大月ロータリークラブに入会し、その会員数15名だった小さな会の者がガバナーを務めております。大きなクラブの協力を得ながら取り組んでいる次第です。

私の今年の地区目標のうち一番大事なことは「新しいグルー

プ体制」の定着させることだと考えております。グループの再編には賛否両論がありましたが、これを機に新しい方に出会って頂き、新しいクラブに接していただき、メイクアップもしていただき、そしてまた新しいことを共同で始めるというようなことを考えて頂くような、そんな新しいグループの人付き合いを開始して何かを得ていただきたい。ロータリークラブの次の20年30年のために何をしていくべきかを考えていくべきです。また米山梅吉記念館は50周年を迎えます。静岡のロータリークラブの皆様には多大なご援助を頂き心から感謝申し上げます。また、出来る限りのご協力をよろしくお願い申し上げます。

ロータリークラブとして「会員増強という課題がつづいていきます。そのためにロータリーを理解し、リーダーシップを発揮できる潜在能力を有する人材、そして今後を考えるために人材育成の機関をつくりたいと思っております。これが新しい人材育成機関「Rotary Leadership Institute」です。以後この「RLI」の活動をしっかり理解いただきたいと思います。本年の地区大会は10/27 28に甲府富士屋ホテルで開催いたします。是非参加をお願い申し上げます。その際に「RLI」先進地区のガバナーの講演とデモンストレーションを予定しております。皆様のご理解をいただきたい存じます。これから一年間お世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

静岡西RC・静岡北RC・静岡RC 3クラブ合同例会



閉会点鐘 RI第2620地区 ガバナー 星野 喜忠様

[担当:大橋(利)]

静岡西RC・静岡北RC・静岡RC 3クラブ合同例会 / ガバナー公式訪問

開会点鐘 RI第2620地区 ガバナー 星野 喜忠様

ロータリーソング 静岡RC 川辺 哲会員

会長挨拶 静岡RC 佐藤 長巳会長



皆様、こんにちは。本日の例会は、星野ガバナーをお迎えしての静岡西クラブと静岡北クラブとの合同例会です。

さて、第100回の夏の甲子園も明日が決勝戦です。高校野球をはじめスポーツの指導者は、スポーツ医学を学習して指導に応用しています。その指導方法は、私たちの時代とは真逆です。学生時代に運動部に所属していた方はわかると思いますが、当時は、バテるから水を飲むな! うさぎ跳び100m! カエル歩き追い越されたらもう1周! がむしゃらにしごかれて(食事中にすいません)赤いおしっこがでるまでやるのが強くなることと洗脳されていた時代です。現在とは言う筋力トレーニングも科学的にやっていますが、それより成果が出る指導方法が、楽しむという指導です。「巨人の星」の星一徹のような指導者はスポーツには向いていないのです。

皆様、おぼえているでしょうか? 20年前の夏の甲子園1998年の夏の準決勝です。春夏連覇がかかる松坂大輔投手が投げる横浜高校と高知の明德義塾の準決勝です。横浜高校

の当時の監督は渡辺元智監督です。松坂投手は、前日の準々決勝でPL学園を相手に延長17回を投げ抜いた翌日でしたので、投げられずに8回を終わって0-6で明德義塾にリードされます。8回裏、横浜高校の攻撃前、円陣を組んで渡辺監督が選手に言いました。「サインは出さない。お前たちは勝ち負けは考えずに思い切って野球を楽しんで来い!」渡辺監督は、スポーツ医学の最先端を勉強して指導に取り込んでいた指導者です。選手は、楽しんでこいと言われたので、筋肉もリラックスしてヘッドスピードが120km/hになり、バットに当たった球は次々にヒットになり一挙に4点をいれました。4-6になっても監督は何も言いません。9回裏になっても選手は楽しんでリラックスして自分なりに野球を楽しみました。ある選手はバントと見せかけて投手を疲れさせて四球で出塁。テレビに沢山映るように盗塁と見せかけて何度も牽制球をなげさせる。選手たちは「見逃し」は、恥ずかしいからフルスイング。そのように選手が楽しんでやった結果、9回裏に2アウト満塁からサヨナラヒットで7-6と勝利し、決勝にすすみました。明德義塾ナインはグラウンドに倒れ伏してしばらく立ち上がることができませんでした。決勝では京都成章(せいしょう)高校相手に、松坂投手が甲子園59年ぶりのノーヒットノーランを達成し、甲子園春夏連覇を成し遂げたのです。優勝の裏には、渡辺監督の楽しむ野球があったのです。仕事もロータリーも、しいては人生を楽しむことが本質ではないでしょうか。

最後に、「高校野球とかけまして「スマートフォン」とときます。その心は、どちらも「バッテリー」が命です。今週も、明るく、楽しく、お元気にお過ごしください。ありがとうございました。

● 本日の例会案内 (第1328回例会)

8月28日(火)
 ゲスト卓話
 静岡×カンヌ×映画プロジェクト実行委員会
 実行委員会：岸田琢磨氏
 テーマ「静岡とカンヌと映画!」

● 次回のプログラム

9月4日(火)
 クラブフォーラム
 「基本教育と識字率向上月間に因んで」
 <奉仕プロジェクト委員会 = 国際奉仕小委員会>
 ※役員、理事会開催